



# 五分だより



長崎県立鶴南特別支援学校五島分校



## 始業式・着任式・入学式

4月12日(水)、鶴南特別支援学校五島分校の始業式・着任式・入学式が行われました。今年度は、小学部5名、中学部2名、高等部4名の入学生を迎えました。式に併せて、本校から新しく赴任された校長先生、副校長先生、事務長先生が来られました。新入生は、厳粛な雰囲気に対し少し緊張した表情を見せながらも、立派な態度で式に参加することができました。これから鶴南五島分校の一員として、夢と希望をもって学校生活を多いに楽しんでもらいたいと思います。新入生のみなさん、そして、保護者の皆様、よろしくお願いします。

### ～入学式の様子～



4月12日(水)の午後からは、訪問教育の新入生 岩下みのりさんの入学式がご自宅で行われました。晴れやかな表情で式に臨むことができました。





## 主役は子供たち

五島分校の令和5年度がスタートしました。

小学部には、5名の児童が入学しました。5名の児童には、「みなさんのあいさつは相手を元気にする力があるので、おはようございます、こんにちは、さようならと、いろいろなあいさつが自分から元気にできる1年生になりましょう。」とメッセージを送りました。

中学部には、2名の生徒が入学しました。2名の生徒には、「中学部の3年間は小学部や小学校6年間の半分なので、短い期間で多くの大切なことを学び、経験し、身に付けなければなりません。そのためには一つ一つの学習について、それぞれ自分なりの目標をもち、それを実現するために最後まで努力することができる1年生になりましょう。」とメッセージを送りました。

高等部には、4名の生徒が入学許可を受けました。4名の生徒には、「高等部では、それぞれに得意なところを生かし、苦手なところを助け合って、みんなの役に立ちながら、自分たちで学校生活をつくる力を育ててほしい。きっと、楽しい学校生活をつくれる高等部の皆さんならば、いずれ楽しい社会を、楽しい人生をつくれる大人になれるでしょう。ですから、自分の力を、他の人や、学校のため、家族のため、地域のために使ってみて、役に立つ喜びを知る1年生になりましょう。」とメッセージを送りました。

職員室には、6名の先生が転勤してこられました。6名の先生には、「勉強の答えを考える主役は子供たちです。答えを探す主役も子供たちです。そして、答えを見つける主役も子供たちです。子供たちの「よーし!」とか、「そうだ!」とか、「分かった!」とか、「できた!」とか、「やった!」といった主体的な学びの姿が、あちらこちらの教室で見られるような五分の教育を目指していきましょう。」とメッセージを送りました。

令和5年度の五島分校は、訪問教育の児童を含む42名の児童生徒と28名の教職員の計70名の学校となります。引き続き、五島分校の教育に対して、保護者の皆様をはじめ、関係の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長の**分藤 賢之**です。

前職は長崎県教育庁特別支援教育課長です。  
新転任の教職員共々、どうぞよろしくお願い申し上げます。

